令和７年度 決算
～皆さんの暮らしを支えるお金の使いみち～

一般会計の歳入決算額は、ふるさと納税の増加や北陸新幹線開業に伴う関連施設の固定資産税の増収などにより、前年度と比較して増加しました。一方、歳出決算額は、中学校体育館空調設備工事や制度改正に伴う児童手当の増額などにより、前年度と比較して増加しました。

問合せ　財政課　☎73-8008

歳出の内訳（目的別）

	決算額	市民１人当たりの決算額
民生費	55 億 6,572 万 7 千円	21 万 5,751 円
総務費	28 億 1,961 万 2 千円	10 万 9,300 円
教育費	20 億 3,501 万 7 千円	7 万 8,886 円
公債費	17 億 615 万 3 千円	6 万 6,138 円
土木費	13 億 3,975 万 3 千円	5 万 1,934 円
衛生費	8 億 5,671 万 1 千円	3 万 3,210 円
農林水産業費	7 億 8,719 万 3 千円	3 万 515 円
消防費	7 億 2,243 万 5 千円	2 万 8,005 円
商工費	6 億 9,010 万 6 千円	2 万 6,751 円
議会費	1 億 4,779 万 9 千円	5,729 円
労働費	2,190 万 9 千円	849 円
その他	23 億 7,921 万 4 千円	9 万 2,228 円

・市民１人当たりの決算総額

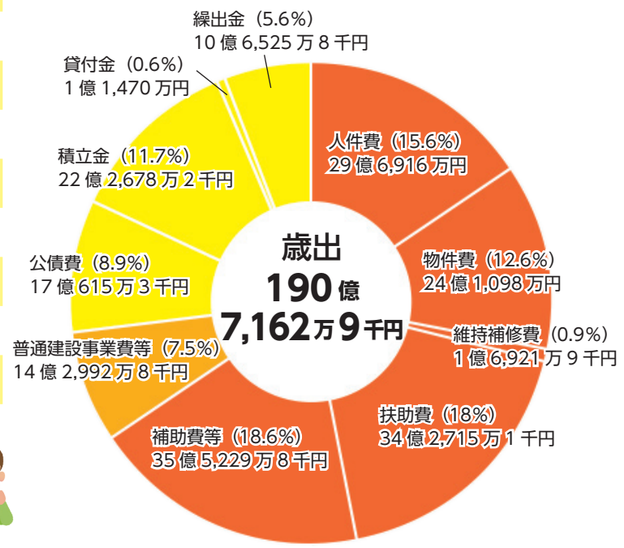
73 万 9,296 円

（令和８年３月 31 日現在　25,797 人で計算）

歳出総額
190 億 7,162 万 9 千円
（前年度比＋ 3.6%）

歳出の内訳（性質別）

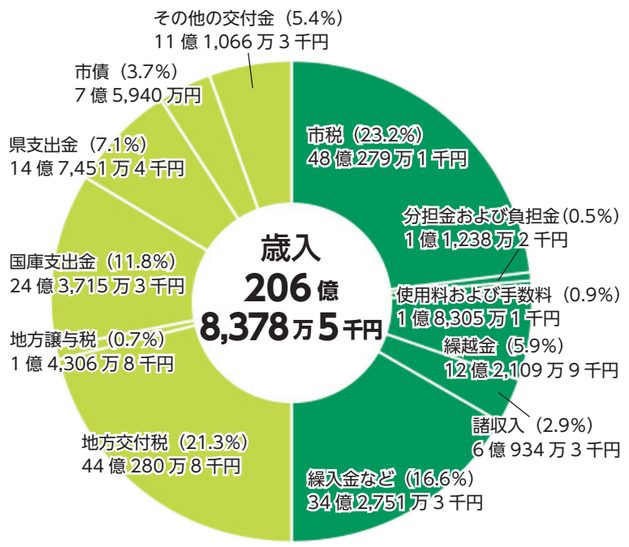
消費的経費（65.7%）
投資的経費　（7.5%）
その他（26.8%）



歳入総額
206 億 8,378 万 5 千円
（前年度比＋ 5.4%）

歳入の内訳

自主財源（50%）
依存財源（50%）



市の貯金と借金

基金残高（貯金）

82.7 億円

16 種類の基金（貯金）があり、そのうち 45.9%を占めるのが、市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。令和７年度は、1,600 万円を積み立てました。

市債残高（借金）

242.7 億円

前年度と比較して、一般会計で約８億 9,000 万円、その他の会計で約２億 7,000 万円減少しています。

公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。

あわら市の財政指標（健全化判断比率）

いずれの比率も基準を下回り、健全な財政を維持しています。

あわら市は **基準をクリア** しています

・健全化判断比率

区　分	R7	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	（赤字なし）	13.44%	20.00%
連結実質赤字比率	（赤字なし）	18.44%	30.00%
実質公債費比率	8.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	16.9%	350.0%	（基準なし）

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市に適用される基準です。

・資金不足比率

全ての公営企業会計（水道事業会計・公共下水道事業会計）において、資金不足は発生していません。

各会計の決算額（単位：千円）

		歳入総額 A	歳出総額 B	差　引 C＝A－B	繰越すべき財源 D	実質収支 C－D
一般会計（市の基本的な行政サービスにかかる経費を収支する会計）		20,683,785	19,071,629	1,612,156	69,943	1,542,213
特別会計（保険料などの特定の収入を特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは区別されています。）						
国民健康保険特別会計		2,738,120	2,623,203	114,917	0	114,917
後期高齢者医療特別会計		504,652	504,162	490	0	490
農業者労働災害共済特別会計		2,267	1,799	468	0	468
公共用地先行取得事業特別会計		541,788	541,788	0	0	0
企業会計（一般の会社と同じように、独立した収入で経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計）					繰越額	
水道事業会計	収益的収支	760,389	736,513	23,876	30,890	
	資本的収支	236,646	376,806	△ 140,160	12,330	
公共下水道事業会計	収益的収支	1,157,381	1,150,226	7,155	20,000	
	資本的収支	588,168	992,873	△ 404,705	172,066	